

近年のニゴロブナ資源尾数について

当協会では、2,3月の冬季漁獲物の標識調査を実施していますが、近年のニゴロブナ当才魚資源に変化が見られましたのでお知らせします。

- 調査から推定した全長2~3cmサイズの資源尾数を図1に示しました。
- ○印は、ニゴロブナ全長2~3cmサイズの総資源尾数です。2009年または2010年から増加が始まり、2011年には約1億2千万尾と推定されました。
- △印は琵琶湖で自然に増殖した尾数です。2009年または2010年から増加しています。このことから、近年のニゴロブナ資源の増加は、放流以外の天然繁殖による増加が主な要因と思われます。

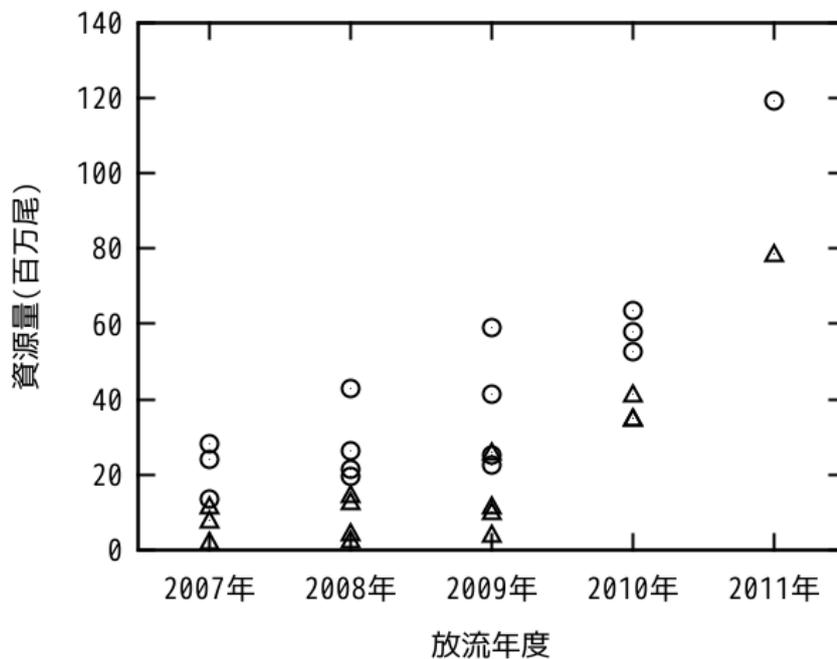


図1: 年度別の全長2~3cm稚魚の資源量

- 資源の推定は複数年の調査結果を参考にして算出しています。ニゴロブナは複数年にわたって漁獲されるため、複数のプロットがあります。例えば、放流年度2007年は○、△とも3つのプロットがあります。これは2009年から2011年のそれぞれの調査結果から算出した尾数を別に表示したからです。
- 総資源尾数には、秋から冬に放流した全長120mm前後の大型種苗に相当する2~3cm種苗の数量が含まれます。